立ちどまらない保険。
MS&AD
INSURANCE GROUP

2013年度第1四半期決算説明会（電話会議） 資料

2013年8月9日(金)

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

資料1　2013年度第1四半期連結業績

正味収入保険料は、国内損害保険会社、海外保険子会社ともに増収
四半期純利益は大幅な増益、グループコア利益も771億円と順調に進捗

	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	前年同期比	増減率
元受正味保険料（除く収入積立保険料）※1	7,452	7,838	386	5.2%
正味収入保険料※1	6,582	6,904	321	4.9%
三井住友海上	3,241	3,374	132	4.1%
あいおいニッセイ同和損保	2,740	2,814	74	2.7%
三井ダイレクト損保	89	89	0	0.3%
海外保険子会社	511	617	105	20.7%
経常利益	191	1,180	988	515.7%
三井住友海上	103	666	563	545.1%
あいおいニッセイ同和損保	105	376	270	257.7%
四半期純利益※2	112	831	718	638.2%
三井住友海上	105	488	383	365.1%
あいおいニッセイ同和損保	49	271	221	444.7%
三井ダイレクト損保	9	8	△ 0	△ 4.7%
三井住友海上あいおい生命	4	21	16	362.2%
三井住友海上プライマリー生命	40	62	22	55.8%
海外保険子会社	68	94	26	38.8%
その他・連結調整等	△ 164	△ 116	48	-

※1 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※2 子会社の四半期純利益は、出資持分ベース

スライド1ページ目の「資料1」をご覧下さい。
連結ベースでの2013年度第1四半期業績について概要をご説明いたします。

まず、いわゆるトップラインにつきましては、国内損害保険会社で増収したことに加え、海外保険子会社も全地域において大きく増収したことにより、正味収入保険料は、前年同期比＋321億円と4．9%の増収となりました。

一方、四半期純利益につきましては、831億円と、前年同期比＋718億円の大幅な増益　となるとともに、四半期決算が開始した2007年度以降の最高益となりました。
増益の主な要因は、運用市場の好転により有価証券評価損が大きく減少したことに加え、有価証券売却益およびネット利配が増加するなど、資産運用損益が大幅に改善したことによります。

また、今四半期のグループコア利益は771億円と、順調に進捗しております。

資料2　国内損害保険会社①　主要2社　2013年度第1四半期業績の概要

MS&AD INSURANCE GROUP

（億円）

		三井住友海上（単体）		あいおいニッセイ同和（単体）		＜ご参考＞2社合計（単純合計）	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料		3,374	132	2,814	74	6,189	207
正味支払保険金	(－)	2,089	△ 147	1,700	△ 130	3,789	△ 278
インカードロス	(－)	1,978	△ 72	1,650	△ 135	3,629	△ 208
諸手数料及び集金費	(－)	607	22	524	22	1,132	44
営業費及び一般管理費（保険引受）	(－)	495	△ 4	454	17	949	12
普通責任準備金繰入額	(－)	13	29	△ 16	43	△ 2	73
異常危険準備金繰入額	(－)	△ 132	199	△ 65	148	△ 198	347
保険引受利益		**233**	**△ 19**	**154**	**4**	**388**	**△ 14**
ネット利息及び配当金収入		299	75	187	68	487	144
有価証券売却損益		150	126	64	29	214	156
有価証券評価損	(－)	5	△ 262	24	△ 125	30	△ 387
資産運用・その他収支		**433**	**582**	**221**	**266**	**654**	**849**
経常利益		**666**	**563**	**376**	**270**	**1,042**	**834**
特別損益		**△ 8**	**△ 24**	**△ 4**	**△ 15**	**△ 13**	**△ 40**
税引前四半期純利益		**658**	**539**	**371**	**255**	**1,029**	**794**
四半期純利益		**488**	**383**	**271**	**221**	**760**	**605**
＜除く家計地震・自賠責＞							
諸比率 正味損害率		63.7 %	△ 7.7 %	60.7 %	△ 6.8 %	62.3 %	△ 7.3 %
諸比率 正味事業費率		33.9 %	△ 1.0 %	35.8 %	0.6 %	34.8 %	△ 0.2 %
諸比率 コンバインド・レシオ		97.6 %	△ 8.7 %	96.5 %	△ 6.2 %	97.1 %	△ 7.5 %

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

次に、国内損害保険会社の2013年度第1四半期業績の概要について、主要2社合計でご説明いたします。　「資料2」をご覧ください。

正味収入保険料については、2社ともに家計分野が好調だった火災保険や、料率改定効果もあった自動車保険が増収したことなどから、2社合計で＋207億円の増収、増収率では　＋3．5%となりました。
インカードロスについては、国内自然災害の減少を主因として2社合計で前年同期比マイナス208億円と大きく減少し、保険引受の状況は大きく改善しました。
一方で、異常危険準備金の取り崩しは、国内自然災害やタイ洪水の支払が減少したことにより、前年同期比347億円減少しました。
以上の結果、2社合計の保険引受利益は、前年同期比マイナス14億円の＋388億円となりました。

資産運用については、有価証券評価損が2社合計で30億円に留まり、前年同期比で387億円改善したことに加え、政策株式の売却を進めたことなどによる有価証券売却損益が前年同期比で＋156億円改善し、ネット利配収入も＋144億円増加したことなどから、資産運用損益とその他収支の合計は、前年同期比＋849億円改善し、654億円となりました。

この結果、国内損害保険主要2社合計の経常利益は、前年同期比＋834億円増益の1，042億円、四半期純利益は、前年同期比＋605億円増益の760億円となっております。

資料3　国内損害保険会社（2013年度第1四半期実績）②

MS&AD INSURANCE GROUP

国内自然災害およびタイ洪水の影響

（億円）

	支払保険金	前年同期比	支払備金積増	前年同期比	インカードロス	前年同期比	支払備金残高
当年度発生国内自然災害	19	△ 128	11	△ 123	31	△ 251	11
三井住友海上	9	△ 70	7	△ 65	17	△ 136	7
あいおいニッセイ同和損保	9	△ 58	3	△ 57	13	△ 115	3
タイ洪水	156	△ 80	△ 233	83	△ 77	3	652
三井住友海上	143	△ 70	△ 203	78	△ 60	7	557
あいおいニッセイ同和損保	7	△ 14	△ 24	11	△ 16	△ 3	46
海外保険子会社	5	5	△ 6	△ 6	△ 0	△ 0	49
合　計	176	△ 208	△ 222	△ 39	△ 45	△ 248	664

次に、自然災害の影響について「資料3」にまとめております。
こちらの説明をいたします。

「資料3」の表は、当年度に発生した「国内自然災害」と「タイ洪水」による決算に対する影響をまとめたものです。

当年度発生国内自然災害については、今年4月にも低気圧による風水災の被害があったものの、第1四半期のインカードロスは2社合計で　31億円と、大型の自然災害が多かった前年同期との比較では、251億円の減少となりました。
つぎに、「タイ洪水」に係る支払保険金につきましては、第1四半期中にグループ合計で156億円を支払いました。

また、インカードロスへの影響は、損害調査の進展などにより、グループ合計でマイナス77億円となっております。
なお、「タイ洪水」に係る為替レートの影響は、この四半期においては、ごくわずかでした。

この結果、「当年度発生の国内自然災害」と「タイ洪水」による当年度第1四半期の支払保険金は176億円、インカードロスは、マイナス45億円となっております。

資料4　国内損害保険会社（2013年度第1四半期実績）③

MS&AD INSURANCE GROUP

異常危険準備金

（億円）

	三井住友海上				あいおいニッセイ同和損保			
	取崩額	繰入額	ネット増減額	残高	取崩額	繰入額	ネット増減額	残高
火　災	134	37	△97	1,013	56	22	△34	1,062
海　上	-	6	6	674	0	1	0	133
傷　害	13	11	△1	649	0	6	6	572
自動車	104	49	△54	134	104	54	△50	157
その他	15	29	13	1,401	2	14	12	508
合　計	**268**	**135**	**△132**	**3,873**	**164**	**99**	**△65**	**2,435**
（前年同期比）	△186	13	199		△136	11	148	

有価証券評価損

（億円）

	MS&AD ホールディングス（連結）	三井住友海上（単体）	あいおいニッセイ同和損保（単体）	その他子会社（単体）	連結調整（含むﾊﾟｰﾁｪｽ差額）
有価証券評価損	28	5	24	0	△1
（前年同期比）	△519	△262	△125	△1	△131

「資料4」の上の表をご覧ください。異常危険準備金の状況をご説明いたします。

この表は、異常危険準備金の取崩し、繰入れの状況を、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の2社について会社ごとにお示ししています。

先ほど、資料3でご説明した国内自然災害およびタイ洪水の保険金支払いが前年同期比で減少したことに加え、自動車保険の損害率が改善したことを主な要因として、異常危険　準備金の取崩し額は大きく減少しております。

この表では、異常危険準備金の残高のネット増減額を表記しておりますが、三井住友海上では前年同期比＋199億円の増加、あいおいニッセイ同和損保では、前年同期比＋148億円の増加となりました。

下の表は、有価証券評価損についてまとめておりますが、前年同期比519億円の減少となっております。

なお、政策株式につきましては、2013年度第1四半期は2社合計で、295億円を売却しており、着実に売却を進めています。

資料5　国内損害保険会社(2013年度第1四半期実績) ④自動車保険の状況

MS&AD INSURANCE GROUP

事故件数の推移 (除く自然災害、1日あたり、対前年同月増減)

三井住友海上

あいおいニッセイ同和損保

保険料・保険金・EI損害率

三井住友海上

＜国内・営業ﾍﾞｰｽ＞	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.4%	+2.0%	+2.5%

＜国内＞	対人	対物	車両 (除く自然災害)
保険金単価増減	△1.4%	+0.3%	+1.7%

＜除く損害調査費＞	2011.6	2012.6	2013.6
ＥＩ損害率	66.4%	65.6%	61.9%

あいおいニッセイ同和損保

＜国内・営業ﾍﾞｰｽ＞	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	-0.8%	+2.7%	+1.8%

＜国内＞	対人	対物	車両 (除く自然災害)
保険金単価増減	+1.8%	+1.5%	+3.2%

＜除く損害調査費＞	2011.6	2012.6	2013.6
ＥＩ損害率	57.0%	59.3%	57.6%

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4－6月)の対前年同期比
※ 保険金単価の増減は、2013年3月末までの1年間の保険金単価に対する、2013年6月末までの1年間の保険金単価の増減を表示
※ ＥＩ損害率は損害調査費を除くベース。期間は各年度の4－6月

次に自動車の収支改善状況について説明します。「資料5」をご覧ください。
上の表は、三井住友海上・あいおいニッセイ同和損保の2社について事故件数の増減を前年同月比で示した折れ線グラフです。

事故件数については、社会全体の交通事故件数の変動や、収支対策の効果、および昨年10月に実施したノンフリート等級制度改定の影響などもあり、三井住友海上で前年同期比△6．2%の減少、あいおいニッセイ同和損保で△3．1%の減少となっています。

次に、下の表のうち、中ほどに示した「保険金単価」の増減をご覧ください。両社とも特に修理費の上昇などを受けて車両事故単価は引き続き上昇傾向を示しております。

一方、その上に示した保険料については、引き続き、両社とも昨年度、一昨年度料率改定の効果を取り込めており、保険料単価は前年同期比＋2%を上回る水準(MSI:2．0%、 ADI:2．7%)で推移しています。

下段は、第1四半期のアーンド・インカード損害率です。
例年どおり第一四半期、第三四半期のアーンド・インカード損害率については、一部、簡便な方法を用いて算出しておりますが、先に申し上げた状況により、想定どおりに収支改善が進捗していると捉えております。

資料6　国内生命保険会社（2013年度第1四半期業績）

三井住友海上あいおい生命

（億円）

	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	前年同期比	増減率
新契約高	9,623	6,251	△ 3,372	△ 35.0%
保有契約高	（前年度末） 200,746	202,874	（前年度末比） 2,128	1.1%
保有契約年換算保険料	（前年度末） 3,197	3,223	（前年度末比） 26	0.8%
保険料（グロス収入保険料）	956	962	5	0.6%
四半期純利益	4	21	16	362.2%

三井住友海上プライマリー生命

（億円）

	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	前年同期比	増減率
新契約高	712	1,155	443	62.2%
保有契約高	（前年度末） 36,614	35,845	（前年度末比） △ 769	△ 2.1%
保有契約年換算保険料	（前年度末） 4,342	4,190	（前年度末比） △ 152	△ 3.5%
保険料（グロス収入保険料）	752	1,218	465	61.9%
四半期純利益	40	62	22	55.8%

次に国内生命保険会社の状況について説明します。「資料6」をご覧ください。
まず、三井住友海上あいおい生命についてご説明します。

2013年度第1四半期の販売の状況は、4月の料率改定の影響および販売商品のポートフォリオの見直しの影響などにより、新契約高はマイナス3，372億円となる、6，251億円となりました。
また、保有契約高は、前期末比＋2，128億円増加し　20兆2，874億円となりました。

四半期純利益は、収益性の高い商品へのシフトや新契約高の減少により責任準備金繰入負担が軽減したことなどから、前年同期比＋16億円増益の21億円となりました。

次に、三井住友海上プライマリー生命では、外貨建て定額終身保険の販売が引き続き好調であることに加え、運用環境の改善により、変額商品の販売も好調だったことから、新契約高は、前年同期比＋443億円の1，155億円となりました。
保有契約高は、昨年度来の円安や株高を反映して解約が高水準で推移したことにより、前期末比マイナス769億円の3兆5，845億円となりました。

四半期純利益は、豪ドル建てが主力の定額商品において、当該四半期間の金利上昇や円高・豪ドル安の影響により資産の評価額が減少しましたが、一方、変額商品の保有　契約高が昨年の同時期に比べ増加したことにより手数料収入が増加したことや、解約の増加などが利益を押し上げ、前年同期比＋22億円増益の62億円となっております。

資料7　海外保険子会社（2013年度第1四半期業績）

MS&AD INSURANCE GROUP

海外保険子会社の内訳

（億円）

	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	前年同期比	増減率
正味収入保険料	511	617	105	20.7%
アジア	232	288	56	24.1%
欧州	140	165	24	17.6%
米州	74	92	17	23.8%
再保険	63	70	7	11.4%
四半期純利益	68	94	26	38.8%
アジア	39	45	6	15.7%
欧州	10	18	8	80.6%
米州	6	3	△ 2	△ 42.2%
再保険	12	26	14	120.6%

次に海外保険子会社の状況について説明します。「資料7」をご覧ください。

正味収入保険料は、全ての地域で増収し、全体で前年同期比＋105億円の増収、増収率では＋20．7%の、617億円となっております。

一方、四半期純利益は、再保険事業とアジア、欧州で収支が改善し、前年同期比＋26億円の94億円となりました。

資料8　三井住友海上（単体）2013年度第1四半期実績 ①

（億円）

	2012年度第1四半期	2013年度第1四半期	
			前年同期比
正味収入保険料	3,241	3,374	132
正味保険料 増収率	1.9%	4.1%	2.2pt
正味損害率	74.9%	67.4%	△7.5pt
正味事業費率	33.5%	32.7%	△0.8pt
コンバインド・レシオ	108.4%	100.1%	△8.3pt
インカードロス	2,051	1,978	△72
保険引受利益	252	233	△19
ネット利息及び配当金収入	223	299	75
有価証券売却損益	23	150	126
有価証券評価損	△267	△5	262
資産運用損益	△120	467	588
経常利益	103	666	563
特別損益	15	△8	△24
四半期純利益	105	488	383
<除く家計地震・自賠責>			
正味保険料 増収率	0.4%	4.8%	4.4pt
正味損害率	71.4%	63.7%	△7.7pt
正味事業費率	34.9%	33.9%	△1.0pt
コンバインド・レシオ	106.3%	97.6%	△8.7pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※「正味損害率」は “リトン・ベイド” ベース

次ページ「資料8」から「資料13」まで、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の2社について、単体の2013年度第1四半期業績を付けております。後ほどご確認ください。

以上で、ご説明を終わります。

資料9　三井住友海上（単体）2013年度第1四半期実績 ②

正味収入保険料

（億円）

	2012年度第1四半期	2013年度第1四半期	
			増収率
火　災	355	417	17.3%
海　上	135	148	9.8%
傷　害	380	382	0.4%
自動車	1,497	1,547	3.3%
自賠責	358	353	△1.3%
その他	513	525	2.3%
合　計	3,241	3,374	4.1%
除く家計地震・自賠責	2,879	3,018	4.8%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2012年度第1四半期	2013年度第1四半期	
			前年同期比
火　災	152.1%	101.4%	△50.7pt
海　上	50.9%	48.7%	△2.2pt
傷　害	55.7%	58.0%	2.3pt
自動車	67.7%	62.7%	△5.0pt
自賠責	104.0%	99.7%	△4.3pt
その他	42.7%	44.6%	1.9pt
合　計	74.9%	67.4%	△7.5pt
除く家計地震・自賠責	71.4%	63.7%	△7.7pt

資料10　三井住友海上(単体)2013年度第1四半期実績 ③

インカードロスとEI損害率（除く損害調査費）

（億円）

	2012年度第1四半期					2013年度第1四半期					
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響(b)	(a)-(b)	EI損害率（除く自然災害影響）	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響(d)	(c)-(d)	EI損害率（除く自然災害影響）	前年同期比
火災(除く家計地震)	286	61.6%	69	217	46.6%	204	**44.3%**	△ 46	251	**54.3%**	7.7pt
海　上	66	48.9%	0	66	48.6%	99	**68.4%**	0	99	**68.3%**	19.7pt
傷　害	190	57.1%	△ 0	190	57.1%	186	**55.5%**	△ 0	186	**55.5%**	△1.6pt
自 動 車	956	65.6%	11	944	64.8%	935	**61.9%**	1	933	**61.8%**	△3.0pt
そ の 他	210	46.7%	3	206	45.8%	232	**52.1%**	2	230	**51.5%**	5.7pt
合 計 (A)	1,710	60.2%	85	1,625	57.2%	1,658	**57.2%**	△ 42	1,700	**58.6%**	1.4pt
家計地震 (B)	—		—	—		—		—	—		
自 賠 責 (C)	340		—	340		320		—	320		
合計(A)+(B)+(C)	2,051		85	1,965		1,978		△ 42	2,021		

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※ インカードロス＝正味支払保険金＋支払備金積増額
※ 合計(A)は除く家計地震、自賠責
※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害およびタイ洪水に係るインカードロスの合計

（億円）

<ご参考>	支払保険金	前年同期比	支払備金積増	前年同期比	インカードロス	前年同期比	支払備金残高
東日本大震災に係る支払いの状況（除く家計地震）	27	12	△ 25	△ 11	1	1	20

資料11　あいおいニッセイ同和損保（単体）2013年度第1四半期実績 ①

（億円）

	2012年度 第1四半期	2013年度第1四半期	
			前年同期比
正味収入保険料	2,740	2,814	74
正味保険料 増収率	1.3%	2.7%	1.4pt
正味損害率	71.4%	64.9%	△6.5pt
正味事業費率	34.3%	34.8%	0.5pt
コンバインド・レシオ	105.7%	99.7%	△6.0pt
インカードロス	1,785	1,650	△135
保険引受利益	150	154	4
ネット利息及び配当金収入	119	187	68
有価証券売却損益	34	64	29
有価証券評価損	△ 149	△ 24	125
資産運用損益	△ 35	211	247
経常利益	105	376	270
特別損益	10	△4	△15
四半期純利益	49	271	221
<除く家計地震・自賠責>			
正味保険料 増収率	△0.1%	3.7%	3.8pt
正味損害率	67.5%	60.7%	△6.8pt
正味事業費率	35.2%	35.8%	0.6pt
コンバインド・レシオ	102.7%	96.5%	△6.2pt

資料12　あいおいニッセイ同和損保（単体）2013年度第1四半期実績 ②

MS&AD INSURANCE GROUP

正味収入保険料

（億円）

	2012年度第1四半期	2013年度第1四半期	
			増収率
火　災	256	288	12.6%
海　上	25	28	11.7%
傷　害	191	189	△ 0.6%
自動車	1,636	1,685	3.0%
自賠責	353	340	△ 3.7%
その他	277	282	1.8%
合　計	2,740	2,814	2.7%
除く家計地震・自賠責	2,383	2,472	3.7%

正味損害率

	2012年度第1四半期	2013年度第1四半期	
			前年同期比
火　災	110.6%	75.2%	△35.4pt
海　上	51.4%	63.4%	12.0pt
傷　害	48.6%	48.4%	△0.2pt
自動車	64.1%	60.8%	△3.3pt
自賠責	98.8%	95.6%	△3.2pt
その他	61.2%	52.6%	△8.6pt
合　計	71.4%	64.9%	△6.5pt
除く家計地震・自賠責	67.5%	60.7%	△6.8pt

資料13　あいおいニッセイ同和損保（単体）2013年度第1四半期実績 ③

MS&AD INSURANCE GROUP

インカードロスとEI損害率（除く損害調査費）

（億円）

	2012年度第1四半期					2013年度第1四半期					
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響(b)	(a)-(b)	EI損害率（除く自然災害影響）	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響(d)	(c)-(d)	EI損害率（除く自然災害影響）	前年同期比
火災(除く家計地震)	285	84.5%	96	188	55.8%	147	42.3%	△ 5	153	43.9%	△11.6pt
海　上	11	50.1%	-	11	50.1%	17	67.3%	-	17	67.3%	17.3pt
傷　害	88	52.2%	0	88	52.2%	88	52.7%	0	88	52.7%	0.5pt
自 動 車	939	59.3%	17	921	58.2%	930	57.6%	1	929	57.5%	△0.7pt
そ の 他	138	55.5%	2	136	54.5%	165	67.5%	0	164	67.1%	12.6pt
合 計 (A)	1,463	61.9%	116	1,347	57.0%	1,349	56.1%	△ 2	1,352	56.3%	△0.6pt
家計地震 (B)	-		-	-		-		-	-		
自 賠 責 (C)	321		-	321		300		-	300		
合計(A)+(B)+(C)	1,785		116	1,669		1,650		△ 2	1,653		

※ インカードロス＝正味支払保険金＋支払備金積増額
※ 合計(A)は除く家計地震、自賠責
※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害およびタイ洪水に係るインカードロスの合計

（億円）

<ご参考>	支払保険金	前年同期比	支払備金積増	前年同期比	インカードロス	前年同期比	支払備金残高
東日本大震災に係る支払いの状況（除く家計地震）	0	△ 5	0	4	-	0	3

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS＆ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・ＩＲ部

TEL: 03-6202-5268
e-mail: ms_ad_ir@ms-ad-hd.com
URL: http://www.ms-ad-hd.com